

ほんじ ほんじ いしがんと  
梵字と梵字の石敢當



① <sup>ア</sup> <sup>ビ</sup> <sup>ラ</sup> <sup>ン</sup> <sup>ケン</sup>  
梵字



② 泰山石敢當

梵字は古代インドの文字で梵語、即ちサンスクリットを記載するのに用いた文字です。身近なものではお寺からいただいた符札で、家の柱に護符として貼られています。その文字が梵字です。

市内に梵字があるのは字豊見城だけです。ひとつは① <sup>ア</sup> <sup>ビ</sup> <sup>ラ</sup> <sup>ン</sup> <sup>ケン</sup> と考えられます。もう一つは泰山石敢當の字の上に 梵 と彫られています。前者は公民館の南側であって、道の突き当たりになり、石敢當と同じ役目と考えられます。もう一つも同じく道の突き当たりにあります。

石敢當を立てる風習は元来、中国より入ってきたもので、現在でもT字路等でみかけます。

